

立花隆氏講演会

「がんと どう向き合うか」

2人に1人ががんにかかり、3人に1人ががんで亡くなる・・・。
2007年膀胱がんの手術を、そして2009年放映されて大きな話題となったNHKスペシャル「がん 生と死の謎に挑む」に関わった立花氏は「がんと共生する」ことをお勧めする。
あなたは どう向き合いますか？

略 歴

立花隆氏(たちばなたかし)

1940年、長崎県生まれ。1964年東京大学文学部仏文科卒。ジャーナリストとして活躍。現在:東京大学大学院情報学環特任教授。大宅壮一ノンフィクション賞選考委員、講談社ノンフィクション賞選考委員。他、各種委員。

受賞歴

「田中角栄研究」で文芸春秋読者賞、講談社ノンフィクション賞、第31回菊池寛賞、「脳死」で毎日出版文化賞、第1回司馬遼太郎賞、第49回放送文化賞、など。

著 書

「がん 生と死の謎に挑む」、「脳死」、「臨死体験」など多数。



10/19(日)13:30~

日 時：2014年10月19日(日)13:30~15:30

場 所：メイシアター大ホール

(阪急千里線吹田駅北口すぐ)

定 員：1,400人

入場料：500円

チケットの販売は会員、メイシアタープレイガイド

主 催：吹田ホスピス市民塾

共 催：地方独立行政法人市立吹田市民病院

後 援：大阪府・吹田市・吹田市教育委員会・大阪府
吹田保健所・吹田市社会福祉協議会・吹田市
医師会・吹田市介護保険事業者連絡会・一般
社団法人日本尊厳死協会関西支部・公益財団
法人大阪対がん協会・読売新聞社・吹田在宅
ケアネット(順不同)

「吹田ホスピス市民塾」とは 会長 小澤 和夫

1. 沿革

平成18年度吹田まちづくり市民塾の一つで、活動 9年目の市民グループ。

2. 目的

吹田市で、がんで亡くなる市民が多い事、終末期ケアの体制が不十分であることから、

- ①がんの予防、早期発見の情報発信
- ②がん患者・家族の相互交流「吹田がん患者・家族会」
- ③余命が限られた市民が、身体的・精神的苦痛から解放され、残された日々を有意義に過ごすためのネットワークとシステムの構築「吹田在宅ケアネット」
- ④遺族の相互交流によるグリーフケア「吹田ひまわりの会」(ご遺族の会)などを推進する。

3. 8年間の主な活動

- ①「吹田在宅ケアネット」に参画。
- ②ビッグ・イベントの開催。
 - ’08年10月:自主映画会「終わり良ければすべて良し」(725人)
 - ’10年10月:鎌田實氏講演会「命を見つめて～がんと共に生きる～」(1,106人)
 - ’12年10月:A・デーケン氏講演会「よく生き よく笑い よき死と出会う」(1,032人)
- ③公開講座の開催:50回。
- ④’14年5月～:吹田がん情報コーナー 毎月2回、吹田市役所ロビー
- ⑤’14年2月～:ピアサポーター研修

4. 定例会、吹田がん患者・家族会、遺族の会 毎月1回。(市報・ホームページでお知らせ)

5. 出前講座 (詳細は、お問い合わせください) お申し込みをお待ちしています。

6. 会員 72名 (’14年6月現在) 年会費:1,200円 (会員募集中 第1次目標:100名 第2次目標:1,000名)

◆チケットの販売

- ①担当会員より購入。又は、メイシアタープレイガイドで。
 - ②Eメール(下記様式で)又は、下記に記入してFAXでお申し込み。(当日、会場で代金とチケットを引き換え。)
- Email:zaitaku51@nifty.com FAX:06-6388-6257

◆FAX申し込み(メールにてお申し込みの場合は下記の内容をお知らせください。)

お名前				名
電話・FAX				
ご住所	〒		車椅子	席

※車椅子席:5席。お知らせください。

お問い合わせ

〒564-0081吹田市藤が丘町27-1-405
TEL&FAX 06-6388-6257(小澤)
E-mail zaitaku51@nifty.com
URL <http://suita-hosupisu.jimdo.com>

担当会員